

令和8年以降の給与計算時の扶養マスタのポイント

2026.01.09

扶養マスタの仕様変更に伴い、給与計算時の扶養親族等のカウントの判定箇所が変わりました。

扶養マスタ

本人区分 **配偶者** 配偶者あり

基礎控除 ☒ **本人合計所得 R8年以降**
6,000,000 円

一般障害者 ☐ **配偶者合計所得 R7年年調以降**
¥450,000

特別障害者 ☐ 本人合計所得区分(R7年以前)

寡夫 ☐ 900万円以下

一般の寡婦 ☐ 配偶者合計所得区分(R7年以前)

特別の寡婦 ☐ 48万円以下

寡婦 ☒ **※注**

ひとり親 ☐ 老人 ☐ **扶一**

勤労学生 ☐ 同居特障一般 ☒ **扶一**

死亡退職 ☐ 同居特障老人 ☐ **扶一**

災害者 ☐ 同居特障老人 ☐ **扶一**

外国人 ☐ 扶養控除申告書 ☐ 配偶者の有無 ☐

扶養親族数 **4** 人

一般扶養親族 **0** 人

特定扶養親族 **0** 人

源泉控除対象特定親族 **1** 人

老人扶養親族 **0** 人

同居老親等 **0** 人

同居特障年少 **0** 人

同居特障一般 **0** 人

同居特障特定 **0** 人

同居特障老人 **0** 人

同居特障老親 **0** 人

扶養控除申告書 ☐ 配偶者の有無 ☐

一般障害者 **0** 人

特別障害者 **0** 人

☐ 平成29年以前 税扶養対応

扶養親族等の数は、下の扶養者一覧を変更すると、自動計算されます。
扶養親族等を直接入力する場合は、扶養親族等の数(配偶者控除分を除く)を入力します。
所得者本人が障害者(特別障害者を含みます)、寡婦(特別の寡婦を含みます)、
寡婦又はひとり親、勤労学生に該当する人がいる場合は、扶養親族が1人いるものと、
控除対象配偶者又は、扶養親族のうち障害者(特別障害者を含みます)又は同居特別障害者に
該当する人がいる場合には、これらの一に該当すること他に1人の扶養親族がいるものとします。

被扶養者

被扶養者一覧

No	氏名	性別	生年月日	続柄	同居の別	住所	加入承認日	脱退年月日	税扶養脱退日	職種	収入	所得	一般扶養親族	特定扶養親族	老人扶養親族	同居老親等	同居特障年少	同居特障一般	同居特障特定	同居特障老人	同居特障老親	特別障害者	一般障害者	年少扶養親族	特定親族	
1	見本 亜紀	女	S41年06月09日	妻	同居	東京都東	R05年07月26日			パート	¥1,000,000	¥450,000														
2	見本 沙友里	女	H17年01月09日	子	同居	東京都東	H17年01月09日			学生	¥1,500,000	¥850,000														
3	見本 康太	男	H24年06月13日	子	同居	東京都東	H30年06月13日			学生	¥0	¥0														

追加(A) 変更(U) 削除(D) 印刷(P)

乙欄で給与計算する場合に、従たる給与についての扶養控除等申告書の提出があるときは、有りに設定して下さい。
甲欄で計算する場合は不要です。

※被扶養者一覧の登録内容はキャンセルできません。

・本人合計所得 R8 年以降

入力した金額により、扶養親族等の数を判定します。(扶養親族などがいない場合は空欄でも問題ありません)

・配偶者合計所得 R7 年年調以降

被扶養者一覧に続柄「妻」または「夫」で登録している「所得(所得見積額)」の金額を反映して、扶養親族等の数を判定します。

・配偶者の『扶一』

被扶養者一覧に続柄「妻」または「夫」で登録し、被扶養者一覧の「扶一」のチェックから反映して、判定します。

・「特定親族」のチェック

特定親族の条件に該当する場合、扶養親族等の人数に判定します。

●令和7年税制改正に伴い、令和8年の給与計算より、被扶養一覧の生年月日、所得、択一のチェックの有無により所得税計算のカウントを行います。生年月日、所得をチェックしてカウントするため、ご注意ください。

例1：特定親族にチェックがあっても、19歳以上23歳未満で所得が58万円超123万円以下に該当しないと、扶養親族等の数に含みません。

例2：扶養親族のチェックがあっても、生年月日により年少扶養親族に該当する場合は扶養親族等の数には含みません。

※令和7年以前の給与計算をやり直す場合も、現時点の年齢での判定となります。